

平成 19 年 6 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社夢真ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 佐藤 眞吾
(コード番号 2362 大証ヘラクレス)
問 合 せ 先 執行役員経理部部长 青木 由行
(TEL 03-3580-5434)

(訂正)「平成 19 年 9 月期業績予想(連結・単体)の修正に
関するお知らせ(追加)」の一部訂正について

平成 19 年 6 月 1 日に公表しました「平成 19 年 9 月期業績予想(連結・単体)の修正に
関するお知らせ(追加)」に関し、訂正箇所がありましたので、下記の通りお知らせします。

記

2.平成 19 年 9 月期通期単体業績予想の修正(平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)
(訂正前)・・・19 年 6 月 1 日 公表分

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,070	430	810
今回修正予想(B)	1,220	<u>378</u>	<u>31</u>
増減額(B-A)	150	<u>808</u>	<u>779</u>
増減率(%)	14.0	-	-
前期(平成 18 年 9 月期)実績	1,092	237	56

(訂正後)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,070	430	810
今回修正予想(B)	1,220	<u>380</u>	<u>30</u>
増減額(B-A)	150	<u>810</u>	<u>780</u>
増減率(%)	14.0	-	-
前期(平成 18 年 9 月期)実績	1,092	237	56

4.平成19年9月期通期連結業績予想の修正(平成18年10月1日～平成19年9月30日)
(訂正前)・・・平成19年6月1日 公表分

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	56,000	1,400	2,000
今回修正予想(B)	<u>42,609</u>	<u>1,529</u>	<u>702</u>
増減額(B-A)	<u>13,391</u>	<u>129</u>	<u>1,298</u>
増減率(%)	<u>23.9</u>	<u>9.2</u>	-
前期(平成18年9月期)実績	41,554	1,286	69

(訂正後)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	56,000	1,400	2,000
今回修正予想(B)	<u>42,500</u>	<u>1,500</u>	<u>700</u>
増減額(B-A)	<u>13,500</u>	<u>100</u>	<u>1,300</u>
増減率(%)	<u>24.1</u>	<u>7.1</u>	-
前期(平成18年9月期)実績	41,554	1,286	69

5.業績修正の理由(追加)

(1) 単体
通期

(訂正前)

□. 経常利益の差異(+808百万円)

前述の中間期の差異+443百万円に加え、販管費の圧縮を365百万円見込んでおります。特に一般経費を減らすと共に、M&A案件の取扱い縮小による諸手数料の削減により、経常利益は予想より808百万円の増加を見込んでおります。

(訂正後)

□. 経常利益の差異(+810百万円)

前述の中間期の差異+443百万円に加え、販管費の圧縮を365百万円見込んでおります。特に一般経費を減らすと共に、M&A案件の取扱い縮小による諸手数料の削減により、経常利益は予想より810百万円の増加を見込んでおります。

(2) 連結

通期

(訂正前)

イ．売上高の差異（13,391百万円）

株式会社夢真総合設備、勝村建設株式会社、その他子会社の売却により、売上高は大幅に減少する見込みです。

ロ．経常利益の差異（+129百万円）

中間期と同様の理由により約 430 百万円は良化するものの子会社売却に伴う経常利益の減少約 300 百万円を織り込み予想に比べ、129百万円の良化を見込んでおります。

ハ．当期純利益の差異（1,298百万円）

中間期と同様の理由により、予想比約 1,100 百万円の差異を見込んでいる他、下記に新たに整理した子会社株式の売却損約 200 百万円を見込み、当期純利益としては前回予想に比べ約 1,300 百万円の損失増加を見込んでおります。

(訂正後)

イ．売上高の差異（13,500百万円）

株式会社夢真総合設備、勝村建設株式会社、その他子会社の売却により、売上高は大幅に減少する見込みです。

ロ．経常利益の差異（+100百万円）

中間期と同様の理由により約 430 百万円は良化するものの子会社売却に伴う経常利益の減少約 300 百万円を織り込み予想に比べ、100百万円の良化を見込んでおります。

ハ．当期純利益の差異（1,300百万円）

中間期と同様の理由により、予想比約 1,100 百万円の差異を見込んでいる他、下記に新たに整理した子会社株式の売却損約 200 百万円を見込み、当期純利益としては前回予想に比べ約 1,300 百万円の減少を見込んでおります。

以 上